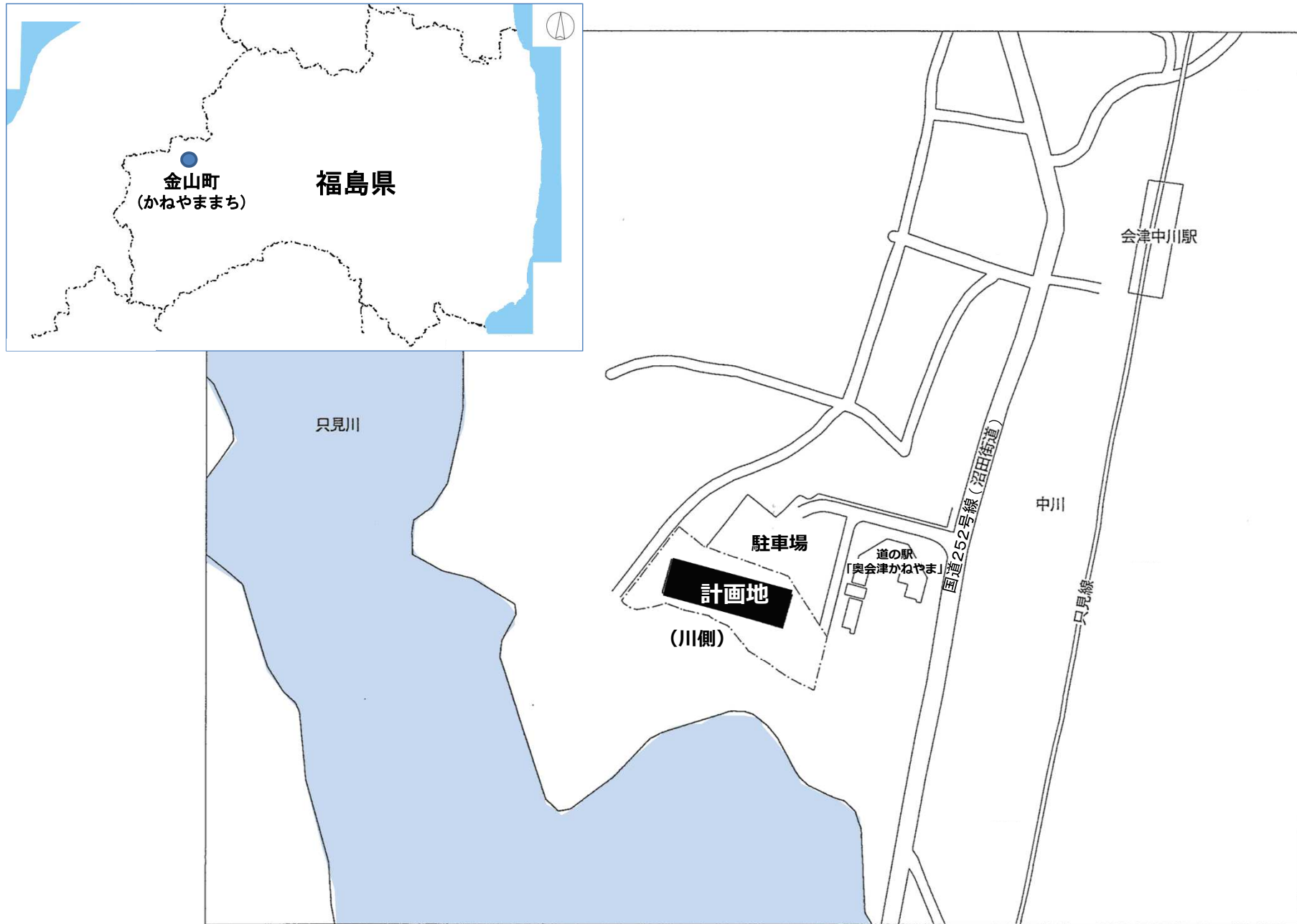

「東北電力奥会津水力館」 建設計画の概要

2019年3月7日
東北電力株式会社

概要

- | | |
|-----------|---|
| 1. 名 称 | 東北電力奥会津水力館 |
| 2. 設置場所 | 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平地内 |
| 3. 建築概要 | 鉄筋コンクリート造（一部木造）
地上1階（建築面積1200㎡程度） |
| 4. 建物意匠 | 屋根の軒のラインが奥会津の山の連なりをイメージし、周囲の
自然環境と調和する木材を使った外観。
川面の眺望にも配慮した建築設計 |
| 5. スケジュール | （着工）2019年4月、（竣工）2020年5月～6月頃 |
| 6. 展示の特徴 | 水力発電を中心としたエネルギー理解に資する展示物
シアターでのダイナミックな映像
絵画・ステンドグラスなど多彩なアート作品を展示 |
| 7. 訴求点 | ①水力発電の仕組みや発電方式などの特徴
②戦後復興を支えた奥会津地域における水力発電の歴史的意義
③当社の再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みやエネルギーミックスの重要性
④只見川の恵みと豊かな自然に囲まれた奥会津地域の魅力 |

設置場所



外観イメージ図 【駐車場側】



奥会津の山の連なりをイメージする外観

山並みのような折れ線をもつ軒のラインが周辺の山並みと呼応し、ダイナミックな雰囲気醸し出します。木質の外壁が生み出す落ち着いた素材感と大きなガラス面が作り出す開放感が周囲の豊かな自然風景と調和し、凜とした印象を与えます。



只見川を望むカフェテラス、自然光でみるステンドグラス

建物南側にワイドに配置されたカフェテラスからは只見川の雄大な流れを一望できます。縦／約2 m、横／約7 mの壮大なステンドグラスは建物のシンボルとして美しい輝きとインパクトを生み出します。

①水力シアターホール

只見川の水力発電をはじめ当社の再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みと奥会津の魅力を映像により紹介。地域のイベント会場としても使える多目的ホール

②水力ギャラリー

水力発電の仕組みやエネルギーミックスについて壁面モニターや展示装置に触れて学べる学習スペース。上流から下流までの川の落差を余すことなく発電に利用している奥会津の地形をジオラマにより紹介

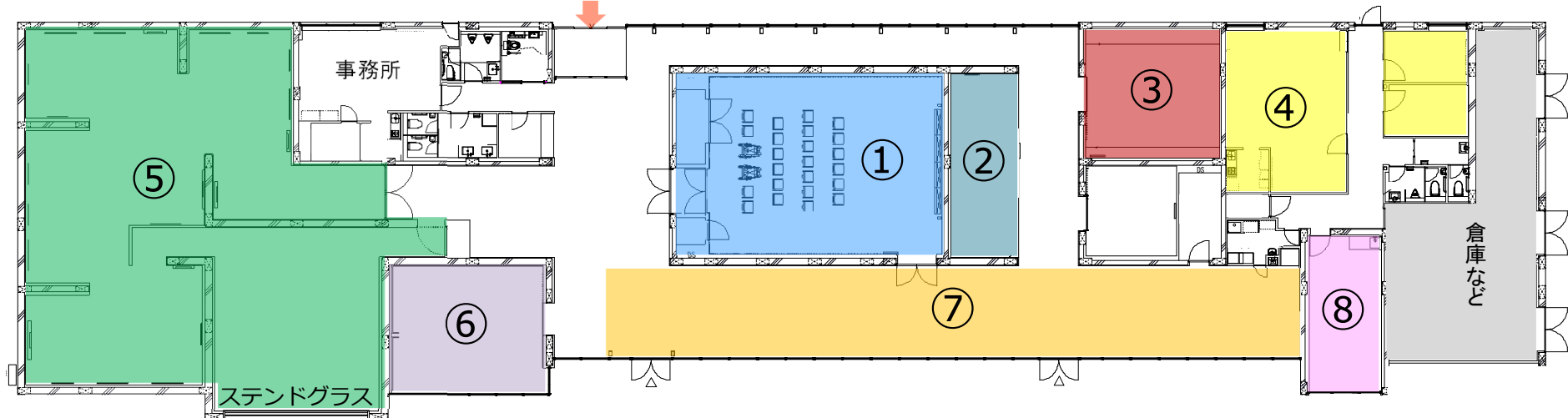
③地元逸品ギャラリー

奥会津7町村の逸品（工芸品・食べ物・自然など）をテーマとした絵画とエッセーにより奥会津の魅力を紹介。絵画やエッセーは画家や書家としても著名な片岡鶴太郎氏が制作

④奥会津振興センター

奥会津の振興・活性化に取り組む「奥会津振興センター」の事務所

来館者の出入口



⑤只見川ギャラリー

「水源～川～発電所～灯り」をテーマに、複数の画家が描いた絵画を通して奥会津の魅力を感性的に紹介。只見川と水力発電所をモチーフにした巨大スタンドグラスも設置

⑥水力歴史ルーム(白洲次郎ルーム)

当社初代会長の白洲次郎氏と只見川の電源開発の関わりを紹介。「旧白洲邸 武相荘(東京都町田市)」の協力のもと白洲次郎氏の人となりにフォーカスしたエピソードの紹介や愛用品を展示

⑦水面～MINAMO～カフェ

ゆっくりと流れる雄大な只見川と、四季折々の美しい景色（新緑・紅葉・雪化粧）を望むことができるカフェスペース

⑧多目的スペース

地域の方々の交流の場として集会・サークル活動など、さまざまな用途に活用できる多目的ルーム

館内イメージ図【水力発電の仕組みや特徴、当社の取り組み】

①(仮称)水カシアターホール



映像で水力発電や奥会津の魅力を紹介

(仮称) 水カシアターホールでは、只見川の水力発電をはじめ当社の再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みを、奥会津地域の魅力とともに映像で紹介。

(映像①)
水力発電の仕組みと
奥会津の水力発電所

(映像②)
東北電力の電源開発
と再生可能エネルギーの取り組み

(映像③)
奥会津の
自然と暮らし

②(仮称)水カギャラリー



画面や展示装置に触れて水力発電を学ぶ

(仮称) 水カギャラリーでは、水力発電の仕組みやエネルギーミックスなどについて、壁面モニターや展示装置に触れて学ぶことが可能。奥会津地域の自然環境が生み出す豊富な水量のもと、多数の水力発電所が建設されている只見川の特徴的な地形をジオラマで紹介。

館内イメージ図【奥会津地域の水力発電の歴史】

⑥(仮称)水力歴史ルーム（白洲次郎ルーム）

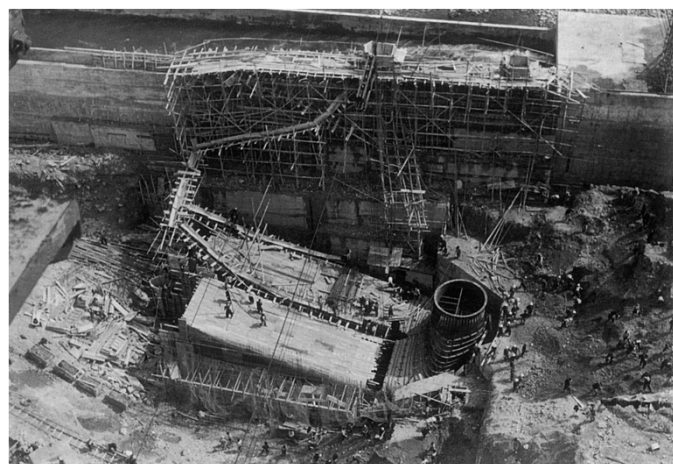


白洲次郎氏と只見川の電源開発の歴史を紹介

(仮称) 水力歴史ルームでは、当社初代会長の白洲次郎氏と只見川の電源開発の関わりを紹介。同氏の愛用品を展示するとともに白洲次郎氏のひとなりも紹介。



白洲次郎氏



白洲次郎初代会長が水力開発に携わった上田発電所の建設



水力館から車で4分の上田発電所には、白洲次郎初代会長の記念碑が立つ

館内イメージ図【只見川の恵みと豊かな自然に囲まれた奥会津地域の魅力】

③(仮称)地元逸品ギャラリー



片岡鶴太郎氏の絵画とエッセイで奥会津の魅力を発信

(仮称) 地元逸品ギャラリーでは、画家や書家としても著名な片岡鶴太郎氏の絵画とエッセイで奥会津地域の魅力を発信。



作品を制作中の片岡鶴太郎氏

⑤(仮称)只見川ギャラリー



只見川や発電所をテーマにした絵画を展示

(仮称) 只見川ギャラリーでは、「水源～川～発電所～灯り」をテーマに、複数の画家が描いた画風が異なる絵画を通して奥会津地域の魅力を感性的に紹介。展示の最後には、只見川と水力発電所をモチーフとした縦 2 m、横 7 mの巨大スタンドグラスで地域の魅力を締めくくる。

(参考) 水力館を建設する奥会津地域の当社水力発電所



発電所名	所在地	出力	運転開始
たきやがわ 滝谷川発電所	河沼郡柳津町	445kW	1920年8月
ひのえまた 桧枝岐発電所	南会津郡檜枝岐村	60kW	1922年10月
うちかわ 内川発電所	南会津郡南会津町	530kW	1927年12月
いながわ 伊南川発電所	大沼郡金山町	19,400kW	1938年10月
みやした 宮下発電所	大沼郡三島町	94,000kW	1946年12月
やないづ 柳津発電所	河沼郡柳津町	75,000kW	1953年8月
うわだ 上田発電所	大沼郡金山町	63,900kW	1954年3月
ほんな 本名発電所	大沼郡金山町	78,000kW	1954年8月
だいにぬまざわ 第二沼沢発電所	大沼郡金山町	460,000kW	1982年5月